

国保税・軽減対象基準の拡充を承認



目指すは全国大会でもアベック優勝！
 京都府代表となった新小ハンドボールクラブ



- 常任委員会の審査・調査でこんな質疑がありました(2面)
- 一般質問で議員15人がまちのことを問いただす(3~6面)
- 議会基本条例(案)提案に向けて：議会改革の動き(7面)
- 市議会議員の政務活動費はどのように使われたのか(7面)
- 議決結果一覧 及び 9月定例会の日程など(8面)



平成26年第2回定例会は6月5日に開会し、23日間の会期で6月27日に閉会しました。初日には、市長から人事案、条例案、補正予算案など11件が提案されました。まず、専決承認案1件を承認し、人権擁護委員の推薦についての人事案2件を同意しました。また、条例案などの7件は、各常任委員会に付託し審査することとし、補正予算案1件は、各常任委員会、所管部分の審査を行うこととしました。

2日目から4日目には、15人の議員が発議し一般質問が行われました。最終日の採決では、各常任委員会に付託していた市長提案案件すべてを可決しました。また、議員から提出された意見書案5件のうち3件を可決、2件を否決しました。

11 条例案等 議案を上程

定例会初日には、市長から「国民健康保険税条例の一部改正」についての専決処分承認案が提案されました。この改正案は、長引く不況により所得が減少している世帯に対し、税負担の軽減を図るため、地方税法施行令の一部が改正されたことによるもので、国保税の軽減対象世帯を判定する所得算定方法が変更され対象となる世帯範囲が拡充されるものです。政令が平成26年4月1日に施行されることから、本市でも反映できるよう、専決処分を行っていただくため今定例会に承認案として提案されました。副市長から提案理由が説明された後、質疑、討論を行い、日本共産党京田辺市議会議員団から、後期高齢者支援金と介護納付金に係る、賦課限度額の引き上げが行われた背景があるとして、反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で承認されました。また、軽自動車税の増額などに係る「税条例等」や「都市計画税条例」、消防団員の退職報奨金引き上げに係る「非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例」のほか、福知山花火大会火災事故を教訓とした屋外催しにおける防火対策を規定する「火災予防条例」及び新名神高速道路建設に伴う松井区内公園移転に係る「都市公園条例」の各一部改正案など7件が提案され、それぞれ所管する常任委員会に付託し、審査を行うこととしました。

この日、コミュニティ助成事業に伴う自治会補助金や、自主防災会助成金に加え、老人医療費助成、三木小学校西校舎棟新築工事の増額を内容とした「一般会計補正予算(第1号)」について質疑が行われた後、各常任委員会で所管部分の審査を行うこととしました。(2面に掲載)

市長提出議案 すべて可決

最終日には、各常任委員会に付託していた議案の審査結果に対し、各委員長から報告を受け、質疑の後、討論を行いました。討論では日本共産党京田辺市議会議員団から「税条例等の一部改正」に対し反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。また、その他条例の一部改正案4件と、道路線の認定案と廃止案の2件、及び補正予算案1件の計7件については、採決の結果、いずれも全員賛成で可決しました。

人権擁護委員 2名は適任

初日には、人権擁護委員の推薦に関し、平成26年9月30日で2名が任期満了となることから、松井啓一(まいついけい)氏(68)と大住ケ丘(おほすまけがき)氏(68)の2名が推薦されました。

議員提出の意見書案 3件を可決・2件は否決

最終日に、議員から意見書案5件が提出され、採決の結果、「水銀に関する水俣条約」の早期発効と国内対策の確立を求める意見書、「手話言語法」制定を求める意見書及び、地方財政の充実・強化を求める意見書の3件は、賛成多数で可決しました。また、特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書、及び、集团的自衛権に関する憲法解釈の変更を行わないことを求める意見書の2件は、賛成少数で否決しました。